

## 函館市役所職員労働組合との交渉の概要

- 交渉日時 令和2年(2020年)10月22日(木) 18:30～20:10
- 交渉場所 市役所8階大会議室
- 出席者 当局側 谷口副市長, 関係部局長, 他 計約15名  
組合側 鎌田執行委員長, 他 計約50名

交渉項目	令和3年度 事務事業・組織機構の見直しによる職員数の見直しについて
交渉要旨	<p>(組合)</p> <p>全ての提案について今後、支部で協議するので、理事者の誠意ある対応をお願いしたい。</p> <p>人口減少社会が進む中で AI の活用などによりある程度、職員の削減はやむを得ないという認識もあるが、コロナウイルス感染拡大の中で、給付金や各窓口、経済対策などで、職員は不眠不休で取り組んだ部分もあり、災害対応など職員でなければ対応できないようなものも多々あると思う。</p> <p>また、職員の中に心の病で休んでしまう者が多くなってきていると感じており、これまでの行革でギリギリの体制で業務をしている中、若い職員の業務へのプレッシャーや指導する先輩職員に余裕がないなどという状況が感じられる。行革もある程度必要だと認識しているが、今後の職員数の見直しでは、それらについても考えていただければと思う。</p> <p>今回提案の無かった部局についても、この機会にコロナウイルス感染症も含め日々不安を抱えて働いている職員も多いと思うので、支部交渉までいかなくても、意見交換などの対応をお願いしたい。</p> <p>(当局)</p> <p>住民ニーズや業務が多様化・複雑化している中で、日々努力し、特に今年は、新型コロナウイルス感染症の各種対策の関係で、課や部の枠を越えて対応するなど、感謝している。</p> <p>本日、職員数の見直しを提案し、今後、支部で色々な話し合いが行われると思うが、誠意を持って対応していきたいと考えており、提案の無かった部局についても、管理職と職員が意思疎通を図るようにしていきたい。</p> <p>今後も効率的な業務運営は大切であり、この with コロナのなかで、働き方改革というものも考えていかなければならない。</p> <p>常にそういうことを念頭に置きながら、業務に励んでいただきたいと思います。</p>
備考	交渉継続し、11月中旬までに函館市職員労働組合から回答予定。